

「市民参加のガバナンスを どう築くか」

—日韓の首長経験者を招いて討論—

11月6日(日)
午後1:30～4:20

1:30 開会挨拶
1:40 基調講演
2:10 パネルディスカッション
(3:10-3:20 休息)
4:20 終了

参加無料

明治大学駿河台校舎
リバティタワー1階ホール
JRお茶の水駅より徒歩5分

《テーマ》

各国の自治体で市民参加が盛んです。韓国では「住民参与予算制」(市民参加予算)の導入が今年9月から自治体に義務付けられました。欧米では市民やNGOが地域の予算配分に参加する動きが広がっています。わが国でも自治基本法の制定などで市民参加の機会は増えています。

日韓の先進的自治体の首長経験者を中心に、これからの市民参加のガバナンスをどう築くかを語ってまいります。

*参加無料

*申込先

通訳機器準備の都合上、氏名・連絡先を明記し「11.6 参加希望」とし下記にお申込みください。

FAX 03-3296-4321

E-Mail gabaken@mics.meiji.ac.jp

《参加者》

*基調講演

中邨章氏 明治大学名誉教授

*パネリスト

(韓国招待者)

朴城孝氏 前大田広域市長

安成浩氏 大田大学校教授

洪萬杓氏 忠清南道国際チーム長

松沢成文氏 前神奈川県知事

西寺雅也氏 前多治見市長

ロザリオ・ララッタ氏 明治大学特任講師

*司会

兼村高文氏 明治大学教授

日本語・韓国語・英語の同時通訳付きです

主催：明治大学ガバナンス研究科

後援：明治大学市民ガバナンス研究所、株式会社ぎょうせい

イマジン出版株式会社、株式会社学陽書房